

南三陸

Minamisanriku



海とともに生きるまち



南三陸がもうひとつのふるさとになる民泊

宮城 Miyagi

vol. 17



南三陸在住、台北出身の佐藤金枝さん

有關南三陸的受災狀況以及復興的種種措施，是由居住在南三陸的佐藤金枝女士擔任說明。金枝女士出生於台北，留學時來到仙台之後有緣嫁到南三陸。同學們也都認真聽著金枝女士的講義說明。

Ms. Kanae Sato gives lectures on measures being taken for reconstruction of Minamisanriku. Kanae came from Taipei to study in Sendai, and later she got married and now lives in Minamisanriku.



南三陸町の被災状況を復興の取り組みについて、三陸町在住の佐藤金枝さんがレクチャーを務めている。金枝さんは台北出身、留学して仙台で学んだ後、縁あって南三陸町に嫁した。金枝さんの講話に生徒たちは真剣に聴く。



There are many mountains in Minamisanriku. I thought that this was where Totoro, an anime character, would live. But when I entered central Minamisanriku, there were many dump trucks, cranes, etc. I understood how terrible the disaster was for the first time. I knew all the people here wanted to recover as early as possible and was very moved. Moreover, the stricken areas in Japan were able to recover so quickly, I felt that they were singular in their aim to recover. I felt really sad that people in Taiwan quarrel over trifling things. I admired their spirit.

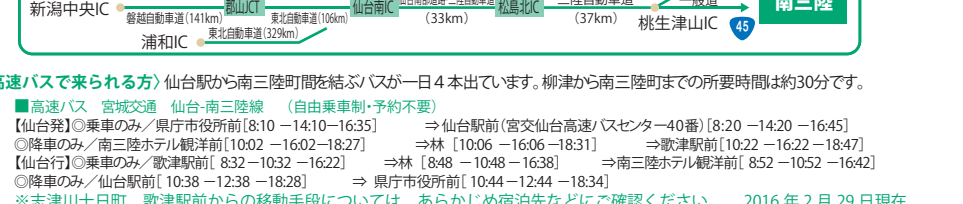
For me, Minamisanriku is a special and beautiful place. It was wonderful that the environment was so beautifully maintained. The toilets are beautiful and really wonderful. I was really glad to have become acquainted with my host father and mother. Moreover, I had the pleasant experience of drinking powdered green tea at school. I don't want to leave here. I was treated like a member of the host family. I was told how to make Japanese-style dishes, and there was so much food that I could not eat everything. It was really a pleasant experience.

南三陸町の民泊体験学習

南三陸町では、小学生から大学生まで幅広い世代の児童生徒、学生のみならず、町に家族にホームステイしていただく「民泊体験」を行っています。「民泊体験学習」では、この地域の普段のありのままの生活を体験します。農林漁業を生業とする家庭、商工業に従事している方の家庭など、さまざまな家庭が民泊を受け入れています。各家庭の暮らしを、家族の一員となって、それぞれのルールを守りながら一晩を過ごします。家事や仕事を手伝いながら、見ず知らずの家族と寝食を共にすることで、家族の温もりや異文化に触れます。また、知らない土地で過ごすことで自分の家族を振り返る時間にもなります。初対面の人の家に泊まるのは緊張を感じるかもしれませんが、南三陸ならではの気さくで温かいホストファミリーと会話するうちに、すぐに打ち解けることができます。中には、たった一晩で、おとなになったと感じる方もいます。防災研修や町でのさまざまな体験と組み合わせ、ニーズに合わせたプログラムを構成することができます。どうぞお気軽に南三陸町観光協会までお問い合わせください。



【車で来られる方】仙台含む各方向からのアクセスは下記高速道路案内を参考にしてください。仙台南ICから南三陸町までの所要時間約120分です。



路線	区間	所要時間	
JR・BRTで来られる方	仙台駅	10:00	10:40
	仙台駅	11:00	11:40
	仙台駅	12:00	12:40
	仙台駅	13:00	13:40
	仙台駅	14:00	14:40
	仙台駅	15:00	15:40
	仙台駅	16:00	16:40
	仙台駅	17:00	17:40
	仙台駅	18:00	18:40
	仙台駅	19:00	19:40
	仙台駅	20:00	20:40
	仙台駅	21:00	21:40

お問い合わせ 一般社団法人 南三陸町観光協会 TEL 0226-47-2550 e-mail: post@m-kankou.jp

台湾の中学生にインタビュー

台湾の中学生は、南三陸でどんなことを感じているのか？民泊のお別れ会でインタビューしてみた。

南三陸町の被災状況を復興の取り組みについて、三陸町在住の佐藤金枝さんがレクチャーを務めている。金枝さんは台北出身、留学して仙台で学んだ後、縁あって南三陸町に嫁した。金枝さんの講話に生徒たちは真剣に聴く。

連安(レイアン)さん 私立南三陸町立南三陸中学校 三年生

南三陸町は、山がたくわんあって、ここはトロトロが住んでいて、中心部に入るとダンダンカクカク、初めて被災状況が悲惨だったことがわかった。皆が一日でも早く復興したいという気持ちで伝わって、本当に感動している。また、日本がこんなに迅速に復旧ができる、みんなが団結していることを感じて、自分たちが災難のことを感嘆したりして、本当に悲しく思った。みんなの精神に感謝して、自分の胃袋が沢山あって、自分の胃袋がこんなにいっぱい、少し寒く感じているが、すてに団結が用意されて、ちょっと感動した。帰国して、日本語を勉強して、次回皆さんと会うときは、自由で自分の考えを伝えたいと思う。

南三陸 夏のイベント

- 6月26日(日) 9:00-13:30 (予定) 旧志津川仮設魚市場跡地 (予定) 銀ざけまつり福興市
- 7月30日(土) 12:00-21:00 (予定) 旧志津川仮設魚市場跡地 (予定) 志津川湾夏まつり福興市
- 8月7日(日) 10:00-20:30 (予定) 歌津・伊里前商店街 (予定) 歌津復興夏まつり
- 8月27日(日) 10:00-21:00 (予定) 旧志津川仮設魚市場跡地 (予定) 第6回三陸海の盆とかがり火まつり福興市

南三陸町へのアクセス



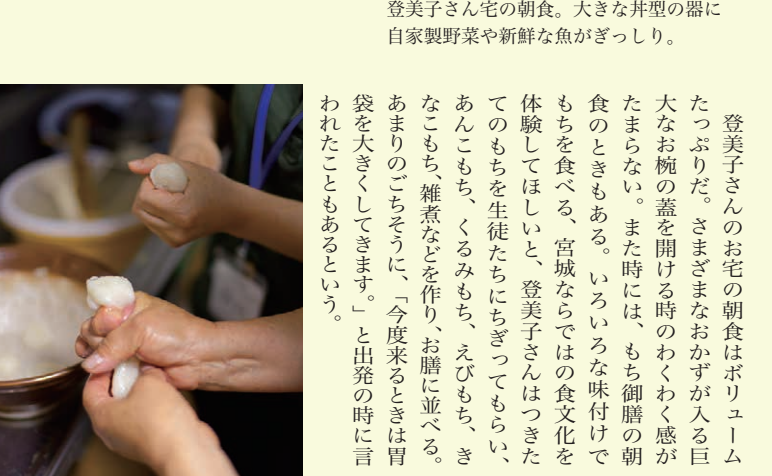
詳しくは南三陸町観光協会ホームページで http://www.m-kankou.jp/access/



高校さん宅の朝食。生徒たちのクレストで肉と魚が同時に並ぶ。

民泊の朝ごはん

Tomiko prepares a big breakfast. She wants the students to experience food that is unique to Miyagi, and she sometimes serves rice cakes for breakfast. The rice cakes are flavored with sweetened red bean paste, walnut paste, or roasted soybean flour. Sometimes the rice cakes contain shrimp usually eaten at celebrations or are put in a vegetable broth usually eaten at New Year's.



登美子さん宅の朝食。大きな丼型の器に自家製野菜や新鮮な魚がぎっしり。

登美子女士家の早餐可份量十足。為希望能夠讓大家品嚐到各種非宮城才有、口味豐富的薩摩飲食文化，有的時候也會在早餐時提供、桌上擺滿了紅豆麻糬、核桃麻糬、蝦子麻糬、黃豆粉麻糬、煮年糕等食物。高校女士家的早餐所準備的調味飯更是人氣鼎盛。每當有台灣的學生們來訪的時候，就會準備這種米飯。還有人說著要當成土產帶回家，可以想像這是台灣的孩子們所喜愛的口味。當然還會加上平常就喜歡驚喜的高校女士所手調製、色彩鮮艷的卷壽司。

Bonds cherished with young people in Japan and the world

Before the Great East Japan Earthquake, junior and senior high school students all over Japan stayed at homes of host families in Minamisanriku, and helped with chores around the house. Although this educational homestay project was interrupted for about three years due to the disaster, after that many foreign students, including those from the USA and Taiwan, have visited Minamisanriku. At present, about 40 families are hosting students for this educational homestay project.

「おかさん、今温泉にはいつ行くの？」と、画面にはいつての支援を申し出てくれた。その破格の支援により、2015年10月25日、保護者連誼、保健センター、地域包括支援センター、保健センター、日本語に翻訳されたメッセージを、台湾の高中生たちから先立って集めた総合アクセス情報冊子を加工して、その外箱が、台湾と南三陸町の友好の碑が設置された。台湾の国花である梅が飾られて、さらには、仙台空港と台北から受け入れられた、ホストの1人だ、台湾からメッセージが送られて来たこと、翻訳ソフトを駆使してメッセージを仕上げている。その画面で見つかった、おかしな、面白い、自分のおもちゃも話しているのかのように、思わずささしい喜びがこぼれる。

若者たちと家族のよう暮らし

「おかさん、今温泉にはいつ行くの？」と、画面にはいつての支援を申し出てくれた。その破格の支援により、2015年10月25日、保護者連誼、保健センター、地域包括支援センター、保健センター、日本語に翻訳されたメッセージを、台湾の高中生たちから先立って集めた総合アクセス情報冊子を加工して、その外箱が、台湾と南三陸町の友好の碑が設置された。台湾の国花である梅が飾られて、さらには、仙台空港と台北から受け入れられた、ホストの1人だ、台湾からメッセージが送られて来たこと、翻訳ソフトを駆使してメッセージを仕上げている。その画面で見つかった、おかしな、面白い、自分のおもちゃも話しているのかのように、思わずささしい喜びがこぼれる。

The joy of living with young people like a family

「おかさん、今温泉にはいつ行くの？」と、画面にはいつての支援を申し出てくれた。その破格の支援により、2015年10月25日、保護者連誼、保健センター、地域包括支援センター、保健センター、日本語に翻訳されたメッセージを、台湾の高中生たちから先立って集めた総合アクセス情報冊子を加工して、その外箱が、台湾と南三陸町の友好の碑が設置された。台湾の国花である梅が飾られて、さらには、仙台空港と台北から受け入れられた、ホストの1人だ、台湾からメッセージが送られて来たこと、翻訳ソフトを駆使してメッセージを仕上げている。その画面で見つかった、おかしな、面白い、自分のおもちゃも話しているのかのように、思わずささしい喜びがこぼれる。

南三陸、里海暮らし



海の幸、里の幸、山の幸にめぐまれた南三陸町で暮らしませんか。里海暮らしの喜びをおす分けします。

與青少年們像家人般相處的生活喜悅